

事業名	ごみ減量化推進費			調査番号	55
細事業名	ごみ減量・リサイクル推進キャンペーン事業費	財務コード	634303		
担当部課室	森林環境 部 森林環境総務 課 育水・環境活動推進 担当 (内線)		6091		

事業の概要

実施期間	始期 H12 年度 ~ 終期 年度
実施主体	県(直営)
目的	だれ(何)を対象に 県民 その対象をどのような状態にして ごみの減量化やリサイクルの必要性を理解し、実践している。 結果、何に結びつけるのか 循環型社会システムの構築
内容 (H28実績)	ごみの減量とリサイクルの促進を図り、県民・事業者・行政が一体となって、資源循環型社会の形成に向けた取組を行うことを目的に、市町村や関係団体等と連携して「やまなし環境月間」(5/30～6/30、6/5日は「環境の日」)に、広く県民に対し啓発活動を行う。 当事業は、1都6県で構成する「関東甲信越静環境美化推進連絡協議会」が「関東地方環境美化運動の日(5/30)」を中心に行う統一美化キャンペーンの一環として実施している。 森林環境総務課 ・日時 5月30日 午後10時～11時 ・場所 甲斐市 ラザウォーク甲斐 ・内容 通行者に啓発物品を配布し、ごみ減量・リサイクルの推進の参加の呼びかけ。 市町村及び林務環境事務所 ・日時 5月30日から6月5日までの期間 ・場所 各市町村・林務環境事務所の決定した場所、時間(道の駅、スーパー等) ・内容 各市町村・林務環境事務所の決定した啓発活動(主に啓発物品の配布)

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
活動指標	啓発物品配布数 ・ポスター(枚) ・リーフレット(枚) ・持ち帰り袋(枚) ・花の種(袋)	目標	77 4,050 3,900 6,400	71 4,680 3,850 6,400	77 4,470 4,200 6,430	71 4,480 4,650 6,100	74 4,310 4,600 6,200	3,860 6,250	3,860 6,250
		実績(見込)	70 4,303 3,900 6,750	71 4,680 3,850 6,400	77 4,470 4,200 6,430	71 4,480 4,650 6,100	74 4,310 4,600 6,200	5,500	
		達成率							
		達成区分							
成果指標	「ごみの減量化のため、缶、ビン、ペットボトルなどのリサイクルに取り組んでいる」もしくは「リサイクルに取り組んでいるがゴミとして出すときもある」人の割合	目標		100%	100%	100%	100%	100%	
		実績(見込)		95.8%	95.3%	94.2%	95.0%	93.7%	
		達成率							
		達成区分							
決算(予算) 単位:千円		124	135	121	127	152	152	152	

事業の評価(平成28年度の業績評価)

活動指標	b	評	県の関係機関及び市町村が希望する数の啓発物品を調達し、各活動場所において配布することができた。
成果指標	b	価	県政モニターによる「廃棄物(ごみ)に関するアンケート調査」では、ごみの減量化のため、缶、ビン、ペットボトルなどのリサイクルに取り組んでいる人の割合が95.0%と前年度を上回る結果となった。県民のごみの減量化やリサイクルに対する意識は高い水準を維持しており、一定の成果が得られている。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	県政モニターのうち20%は缶、ビン、ペットボトル等を「ゴミとして出すこともある」、5%は「ゴミとして出している」と回答しており、意識が低い住民や、子どもなど若い世代に啓発活動を続けていくことで、ごみの減量化及び再生利用のより一層の促進が期待できる。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 (平成28年度見直し済み)
その他	説明	
見直しの必要性	無	平成28年度に関東甲信越静環境美化推進連絡協議会が解散したことに伴い、啓発物品の内容や数量について見直しを行い、平成29年度は見直し後の体制で事業を実施しているところである。

見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明
-------	----

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。